

Dell™ PowerVault™ Data
Protection Solution

アップデート情報



メモ、注意、警告



メモ：コンピュータを使いやすいするための重要な情報を説明しています。



注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2007 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell、DELL ロゴ、PowerEdge および PowerVault は Dell Inc. の商標です。Microsoft、Windows および Windows Server は米国その他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書では、必要に応じて上記以外の商標や会社名が使用されている場合がありますが、これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

重要なシステム情報

Dell™ PowerVault™ Data Protection Solution の既知の問題を 表 1-1 にまとめます。

表 1-1. 既知の問題

問題	説明	回避 / 解決方法
初期レプリカの作成中に最初の同期が行われると、レプリカが一致しなくなる。DPM コンソールに次のメッセージが表示される。"The replica on <system> is inconsistent with the protected data source.All protection activities for data source will fail until the replica is synchronized with consistency check. (ID: 3163)"	初期レプリカが作成中であるため、最初の同期が失敗します。そのため、その後の同期がすべて失敗し、レプリカは一致していないという表示になります。	初期レプリカの作成が完了するまで待ってから、コンシステンシーチェックを実行します。

インストールおよびセットアップに関する問題

Dell PowerVault Data Protection Solution のセットアップと構成中に発生する可能性のある問題を回避する方法を 表 1-2 にまとめます。

表 1-2. インストールおよびセットアップに関する問題題

問題	説明	回避 / 解決方法
Dell PowerVault Data Protection Solution 構成ウィザードにエラーが表示される。	前提条件が正常に完了しなかったか、または重大なエラーが発生しました。	画面に表示されるエラーメッセージの指示に従って問題を解決します。
Microsoft® Windows® Storage Server 2003 R2 With SP2 のリカバリメディアによる指示が間違っている場合がある。	Microsoft Windows Storage Server 2003 R2 With SP2 のリカバリメディアでは、『Dell® PowerEdge® Installation and Server Management CD』を使用して OS を再インストールするように指示しています。	OS の再インストールが万一必要になった場合は、システムに付属の Windows Storage Server 2003 R2 With SP2 リカバリメディアと一緒に Systems Build and Update Utility を使用してください。Dell PowerVault Data Protection Solution の『System Recovery Guide』（システムリカバリガイド）を参照してください。
Microsoft System Center Data Protection Manager 2007 の再インストール用 DVD に Windows Server OS 用の 32 ビットバージョンの KB940349 が収録されていない。	PowerVault Data Protection Solution の『クイックスタートガイド』の「Installing Protected System Prerequisite Software」（保護されるシステムの前提条件ソフトウェアのインストール）で説明されているように、保護されるサーバーには必ず KB940349 をインストールする必要があります。Microsoft System Center Data Protection Manager 2007 の再インストール用 DVD には、DPM 2007 システムに DPM 2007 を再インストールする必要に備えて、\prereqs ディレクトリに 64 ビットバージョンの KB940349 が収録されています。32 ビットバージョンの KB940349 は再インストール用 DVD に収録されていません。	32 ビットバージョンの KB940349 を入手するには、 www.support.microsoft.com にアクセスしてください。サポート技術情報の検索フィールドに 940349 と入力し、Enter を押します。「ボリュームシャドウコピーサービス (VSS) が利用可能更新します」というタイトルの記事をクリックします。「情報を更新します」の項で、x86 ベースのシステム x Windows Server 2003 という見出しの下にある Download the 940349 package now をクリックします。

TL2000 and TL4000 Tape Drives - Driver Installation

ネイティブ OS デバイスドライバのインストールを必要とする TL2000/TL4000 テープドライブの場合は必ず、PowerVault Data Protection Solution の『Support Matrix Guide』（サポートマトリクスガイド）に記されている次の手順に従ってください。まず、これらのデバイスのマニュアルに記されているインストール手順に従って、テープライブラリとテープドライブのソフトウェアをインストールします。次に、以下の手順に従ってテープドライブのデバイスドライバを OS に付属のデバイスドライバと交換します。



メモ: テープドライブ用のデバイスドライバのみを交換してください。メディアチェーンジャのデバイスドライバは交換しないでください。

ネイティブ OS テープデバイスドライバをインストールするには、次の手順に従います。

- 1 **スタート > コントロールパネル > システム** の順にクリックして、システムのプロパティを表示します。
- 2 **ハードウェア** タブで、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 3 **デバイスマネージャ** のツリービューでテープデバイスを見つけ、**ドライバの更新** オプションを右クリックします。
- 4 「ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?」というメッセージが表示されたら、**いいえ、今回は接続しません** ボタンをクリックします。
- 5 **次へ** をクリックして続行します。
- 6 「インストール方法を選んでください」というメッセージが表示されたら、**一覧または特定の場所からインストールする（詳細）** を選択します。
- 7 **次へ** をクリックして続行します。
- 8 **検索とインストールのオプションを選んでください** ダイアログボックスで、**検索しないで、インストールするドライバを選択する** を選択します。
- 9 **次へ** をクリックして続行します。
- 10 **このハードウェアのためにインストールするデバイス ドライバを選択してください** ダイアログボックスで、製造元に **LTO**、モデルに **LTO Tape drive** を選択します。「このドライバはハードウェアと互換性があることを確認できませんでした」という内容のドライバの更新警告メッセージが表示されたら、**はい** をクリックして LTO Tape ドライバのインストールを続行します。
- 11 **次へ** をクリックしてドライバのインストールを完了します。

管理に関する問題

本項では、システムの監視と管理に関する問題について説明します。

DPM 2007 およびテープのクリーニング

DPM (Data Protection Management) 2007 には、一部のテープデバイスで使
用した場合に、テープカートリッジの管理とクリーニング機能に問題がありま
す。たとえば、テープデバイスのインベントリが作成されなかったり、テープ
のクリーニング操作が正常に実行できなかったりします。テープのクリーニン
グには、以下の方法をお勧めします。

オートローダーとテープライブラリ

- 1 **自動クリーニング**—テープオートメーションのコントロールパネルまたは RMU(リ
モート管理ユーティリティ) を使用して、「自動クリーニング」機能を設定します。
- 2 **手動クリーニング**—テープオートメーションのコントロールパネルまたは RMU(リ
モート管理ユーティリティ) を使用して、テープのクリーニング操作を開始します。
- 3 どちらの方法も使えますが、デルでは、テープシステムを無人でクリーニングでき
る自動クリーニングをお勧めします。自動クリーニング機能およびその他のテープ
クリーニング操作の設定については、テープオートメーションの『ユーザーズガイ
ド』を参照してください。

スタンドアロンのテープドライブ

テープデバイスの『ユーザーズガイド』の説明に従って、クリーニングカートリッジをセッ
トします。

DPM 2007 およびテープデバイスのステータス

テープクリーニングカートリッジの期限切れなど、DPM 2007 では認識できないテープハ
ンドリングアラートもあります。テープデバイスのステータスを監視する方法として、以
下を参考にしてください。

すべてのテープデバイス

テープデバイスには、デバイス上 (110T など) や LCD 表示パネル (TL2000/TL4000 など)
に LED インジケータがあり、テープデバイスの状態に関する情報やアプリケーションエ
ラーコードが表示されます。表示パネルのエラーコードの使い方と解釈の方法につい
ては、テープデバイスの『ハードウェアオーナーズマニュアル』を参照してください。

オートローダーとテープライブラリ

上記の表示パネルのエラーメッセージに加えて、TL2000/TL4000 などのオートローダーとライブラリには RMU（リモート管理ユーティリティ）があります。これは、デバイスの設定と監視を行う Web ベースの設定ユーティリティです。RMU には Web ブラウザからアクセスでき、デバイスの状態に関する情報が表示されます。リモート管理ユーティリティの使い方については、オートローダーまたはテープライブラリの『ハードウェアオーナーズマニュアル』を参照してください。

スタンドアロンテープデバイスの DPM 2007 インベントリ

DPM 2007 には、スタンドアロンおよび PowerVault 114T テープドライブのメディアタイプ（LTO-2、LTO-3 など）は表示されません。ドライブにメディアをセットすると、ドライブのステータスは「in-use」（使用中）と表示されます。メディアがセットされていないと、ドライブのステータスは「free」（空き）と表示されます。

